

平成30年度事業計画

【基本計画】

平成30年1月22日に閣議決定された政府経済見通しでは、平成30年度は、雇用・所得環境の改善が続き、経済の好循環が更に進展する中で、民需を中心とした景気回復が見込まれ、その結果、平成30年度の実質GDP成長率は1.8%程度、名目GDP成長率は2.5%程度が見込まれるとしています。

また、同日行われた首相の施政方針演説において、日本経済は足元で28年ぶりとなる四半期連続のプラス成長、4年連続の賃上げによる民需主導の力強い経済成長が実現し、デフレ脱却への道筋を確実に進んでおり、人生百年時代を見据えて経済社会の在り方を大胆に改革していくと述べられています。

厚生労働省の平成30年度予算では、シルバー人材センター補助金について、一般会計で1億円増の69億円、労働保険特別会計（雇用勘定）69億円と合わせると138億円の予算となっており、引き続き、シルバー人材センターを大きく支援し、シルバー派遣事業を強く推進する内容となっています。

そうした中、これまで、当センターにおいては、平成25年度にコンプライアンスの観点から業務を精査し派遣に切り替えたものを含め、派遣事業を拡充してきましたが、引き続き積極的に派遣事業に取り組み、就業機会の確保とともにセンターの安定経営のため派遣契約の比率を更に高めていく必要があります。現在、シルバー派遣事業の契約高は県内上位ですが、平成30年度につきましても、これまで以上に派遣事業を推進します。

一方、コンプライアンスの観点から業務を精査した結果、請負契約は減少しました。派遣事業とともに請負についても就業開拓に力を入れ、就業機会の確保に努めます。

市から指定管理者を委託されている「老人憩の家」4荘については、より一層安全で安心して利用してもらえる魅力ある施設を目指して、リピーターを増やすとともに新たな利用者の獲得に努めます。

次に、毎年理事長が掲げている年度スローガンは、民需が回復基調にある中で、より一層努力して前向きに事業を展開していくため、「**回復と前進**」に決まりました。

センターは、このスローガンの目的達成のため、様々な場所で様々な機会を捉えて会員に周知します。

なお、旧市役所庁舎の耐震性が理由で、センターの事務所が小手指タワーズエバースカイタワーへ移転しました。移転前とは異なり種々制約がある中で、会員サービスの低下を招かぬよう努めます。

センターは、笑顔で就業して笑顔で帰宅するという日常が如何に大切なことかを考え、就業中の事故を限りなくゼロに近づけるため安全就業に関する講習会や研修会を引き続き実施し、就業先を訪問して事故ゼロ運動の強化を図っていきます。会員のために何を思い、何をしなくてはならないかを常に考えていきます。商工会議所や社会福祉協議会等の地域との繋がりを強化しつつ、新たなことにも積極的にチャレンジしていきます。

そして、多様化する顧客のニーズに対応した就業の確保に努めるため、次の事業を目標に向かって進めます。

【実施計画】

1. 本年度の目標契約高 **7億2千万円**
(内、労働派遣事業 9千万円)

2. 本年度の目標就業率 **75%**

3. 組織の充実

理事7名が各委員会（総務委員会、会員活性委員会、地区活動委員会、広報委員会、就業推進委員会、職群班委員会、安全推進委員会）を受け持ち、各所管の課題に取り組みます。

理事7名に副理事長が加わった事業推進委員会において、情報の共有化と共通認識を図ったうえ、理事会において事業化に向けた協議を行います。

☆安全就業の徹底

「安全はすべてに優先する」を原則に、会員の就業中の事故や就業途上の交通事故等の防止に向けた対策の強化を図ります。

毎月はじめの安全週間及び7月の安全月間の設定、高齢就業会員の安全就業調査及び安全パトロールの強化、安全研修及び健康セミナーの実施、安全就業ハンドブックの活用などにより、会員一人ひとりの安全意識を一層高め、事故の撲滅に努めます。

☆就業機会の開拓と派遣事業の推進並びに職群班体制確立

請負契約と派遣契約それぞれの適性に応じた就業開拓を行うとともに、派遣事業を積極的に推進していきます。

一人でも多くの会員が就業できるよう、ワークシェアリングを推進するとともに、就業相談をもとに未就業会員の就業を促進します。

また、会員が持ち合わせた豊かな技能や経験を活かすため、会員データベースを利用した職群班編成を充実させ、就業機会の拡大と就業率の向上に努めます。

☆設立40周年記念事業の実施

本年10月に設立40周年を迎えます。長い年月の歴史と実績の成果として、記念式典と記念講演を開催し、記念誌の発行等を行います。

☆広報・ホームページの充実

広報紙「つどいの樹」とホームページは、会員に所沢シルバーの現状や活動方針を伝える、極めて重要な手段です。会員の皆様が「おやっ」と手に取りたくなる広報紙、「アクセスしてみようかな」と興味を持っていただけるホームページを提供できるよう努めます。

また、行政や企業・団体、市民の皆様を意識した紙面づくりにも取り組みます。

☆地区活動と地域連携

センターには、市の行政区と同じ11の地区組織があり、地区活動委員会の使命として効果的な活動を行います。

会員への情報伝達、会員相互の懇親、会員増強・就業機会開拓の意識向上、公民館活動や自治会活動に積極的な参画交流など、地域との連携を図りながら活発な地区活動を展開します。

☆研修・講習の充実

発注者の様々な就業依頼に応えるため、職群班ごとにマニュアルの作成や研修、新入会員への心構え研修等を行い、会員の資質向上に努めます。

また、友人や知り合いの紹介を通じて女性会員の増強を図るため、女性会員を対象に講習会を開催します。

☆市から受託している指定管理業務

「老人憩の家」4荘については、利用者が順調に伸びており、リピーターの利用も多くあり、好評を得ています。更なる利用者の獲得に努めます。

☆独自事業

地域での分散型の独自事業について検討してまいります。

また、営農事業、製麺事業（所沢うどん）、シルバーショップ、イベント班等の積極的な運営に努め、就業機会を拡大していきます。

☆その他

会員の親睦団体である悠和会は、会員同士の横のつながりに、なくてはならない団体です。

また、みまもりネットワークを推進する一員として会員活動で気づいた地域の情報は、地域の包括支援センターに報告すると同時に地域の自治会組織とも連携を図っていきます。